

## 編集後記

コロナ（COVID-19）禍の影響と波紋は予想以上に非常に大きい。日本において新型コロナウイルスへの対応が行われるようになってから1年以上も経過している。そして、変異株の登場によって出口の見えぬトンネルの中に入ってしまったようにも感じる。国際・国内、政治・経済、企業・顧客、学校・学生……仕事も生活も、様々な側面で変化せざるを得ない状況となっていることは間違いない。

（賛否は別にして）ワクチン接種も不十分な状況の中で、以前と同じような仕事や生活の状況が舞い戻るとは想像しがたい感じがする。むしろ、こうしたコロナ禍という状況も1つの経験として吸収し、あらゆる側面から学習して、新たな生活観あるいは仕事観として織り込んで生かしていかなければならないのだろう。今月下旬から開催される2020年東京オリンピック、パラリンピックは無事に終わるのだろうか。不安や心配が付きまとう。

議論を呼ぶところ、思うところはあちらこちらに散在するが、ただ単に早く収束してくれとも思う、複雑な心境である。

さて、『和光経済』第54巻第1号をお届けいたします。今回は、自由論文2点、研究ノート2点、資料1点の投稿がありました。今回、ご投稿いただきました先生方に対しまして、この場を借りて、和光経済編集委員会として心よりお礼を申し上げます。同時に、今後も、こうした研究の成果を発表する場を大切にしていきたいと思っております。次回以降も数多くの投稿のお申込み、投稿をお待ちしております。

(2021年7月 當間政義 記)

---

## 和光経済 第54巻第1号

2021年7月26日 印刷

2021年7月30日 発行

発行者 清水 雅 貴

制作 八千代出版

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-2-13

---

発行所 和光大学社会経済研究所

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘 5-1-1

---